

就労移行支援事業所自己評価シート

1 就労移行支援事業所の理念・基本方針

評価項目 1-1 事業所の理念・基本方針の職員への周知

事業所の理念・基本方針について職員の理解が深まるように、取組みを行っているか

- ①実施している ②実施していない

[上記①選択の場合、実施している内容を下記から選択してください（複数回答可）]

- 職員の打合せの時間や面談、職員会議等で理念、基本方針等を確認している。
 職員に対し定期的に、理念、基本方針等の研修を実施している。
 職員に対し理念、基本方針等を掲載した冊子等を配布している。
 理念、基本方針等の実践について定期的な検証を会議等で実施している。
 理念、基本方針等に沿った業務目標を設定し周知している。
 事業所内の見やすい場所に理念、基本方針等を掲示している。
 朝礼等で毎日確認している。
 その他（又は上記選択肢から補足、または追加等）
月例会議にて代表より理念、基本方針に沿った研修が行われている。

2 初期の面談

評価項目 2-1 利用希望者の情報収集

初期の面談において、利用希望者の基本情報や就労支援に必要な情報を聞き取るために、どのように情報を収集しているか。（複数回答可）

- 事前に家族・学校・相談支援機関・以前勤めていた職場等から情報を収集している。
 面談に家族等に同席してもらっている。
 フェイスシートやアセスメントシートなど所定のシートにより情報を収集している。
 利用前に施設の体験利用を行い、その際に情報を収集している。
 これまでの就業経験や得手不得手等を聞き取るなど、振り返りの作業を行っている。
 本人の就労に関する希望やニーズ等を聞き取っている。
 その他（又は上記選択肢から補足、または追加等）
障がいや通院について事前に聞き取りしている。

評価項目 2-2 利用希望者への事業所の説明

初期の面談において、利用希望者に対し、事業所等についてどのような説明をしているか。（複数回答可）

- 事業所の理念・基本方針を説明している。
 事業所の提供する就労支援サービスや支援の進め方（就職までの流れ）を説明している。
 各種助成制度やジョブコーチ支援、関係支援機関等について説明している。
 就労移行支援事業の制度（利用期限など）について説明している。
 わかりやすいようにパンフレット等の資料を用いて事業所のことを説明している。
 事業所の見学を実施することで実際の作業内容や雰囲気等を体感してもらっている。
 就労実績や主な就労先、具体的な就職者の事例等を交えて説明している。
 2年後に利用者はどうなっているかを示すことにより、事業所の目指す方向性を説明している。
 その他（又は上記選択肢から補足、または追加等）

3 暫定支給決定期間中の評価

評価項目 3-1 暫定支給決定期間中の評価

暫定支給決定期間中にアセスメントを行っているか。

- ①実施している ②実施していない ③暫定支給を利用していない

[上記①選択の場合、実施している内容を記入してください]

- ・ 訓練への出席状況
- ・ 体調管理、通院、服薬の状況
- ・ 訓練内容が適切かどうかの確認
- ・ 本人の利用意思の確認

評価項目 3-2 就労移行支援利用の妥当性

利用希望者にとって自事業所での就労移行支援事業の利用が適切であるかどうかは、どのように判断・評価しているか。

- ・ 本人に就労への意欲がある
- ・ 訓練を継続できる生活環境が整っている
- ・ 支援員とのコミュニケーションが取れている
- ・ 上記を確認したうえで最終的には相談支援専門員、利用者と合同で面談を行い判断・評価している。

4 個別支援計画の作成

評価項目 4-1 個別支援計画の内容

個別支援計画の記載内容等について、利用者の目標を達成するために、どのような工夫を行っているか。

- ・ 就労訓練とは別に週2回以上の面談を行い、体調、訓練、プライベートのことも含めなんでも相談できるような信頼関係づくりに努めている。その中から個別支援計画と利用者の状況を評価し、達成できるような声掛け、支援を行っている。

評価項目 4-2 個別支援計画の見直し

どのように、どのくらいの頻度で個別支援計画の見直しを行っているか。

[計画見直しの頻度]

- ① 1ヶ月以内に1回程度 ③ 6ヶ月以内に1回程度
 ② 3ヶ月以内に1回程度 ④ 特に期間を定めずに適宜見直しを行っている

[(上記で①～③を回答した場合のみ) 定期的な見直し以外に、必要に応じ適宜見直しを行っているか]

- ① 行っている ② 行っていない

[計画見直しの方法を下記から選択してください (複数回答可)]

- 利用者本人との面談により進捗状況の確認や評価を行っている。
 利用者本人のほか、家族等も交えて面談等により進捗状況の確認や評価を行っている。
 会議等により、スタッフ間で定期的に進捗状況の確認や評価を行っている。
 所定のシートやチェックリスト等を使い、本人等と進捗状況の確認や評価を行っている。
 日々のモニタリングの中で進捗状況を確認している。
 その他 (又は上記選択肢から補足、または追加等)

5 就労に向けたトレーニングや取組み

評価項目 5-1 利用者の就労意欲向上

利用者の就労意欲向上に繋がる取組みを行っているか。

- ① 実施している ② 実施していない

[上記①選択の場合、実施している内容を下記から選択してください (複数回答可)]

- 障がい者雇用企業の見学・実習を行っている。
 就職した先輩や仲間の状況を伝えたり、直接話を聞く機会を設けている。
 働くことの意味や賃金を得ること、実際にある仕事などをわかりやすく説明している。
 研修や勉強会 (他の支援機関又は自事業所開催) に積極的に参加してもらっている。
 面接訓練やビジネスマナーなど、より就職を意識した訓練を行っている。
 求人情報を閲覧する機会を頻繁に設けている。
 成功体験や目標達成等により自信をつけられるよう取り組んでいる。
 地域のイベントやボランティアなど、就労に近い活動に参加してもらっている。
 その他 (又は上記選択肢から補足、または追加等)
・ 仕事体験 (データ入力、封緘、軽作業) など利用者の希望に沿った作業に参加してもらっている。イベントを企画し、利用者同士が交流できる活動をしている。毎週、スタッフのおすすめの求人情報を紹介している。

評価項目 5-2 職場実習

令和5年度で職場実習は何人実施したか。また、実習を行う際には何に留意しているか。

[職場実習実施人数]

実人数 9 延人数 9

[上記で実績がある場合、実習実施の際に留意していることを選択してください(複数回答可)]

- 実習の前に、利用者と実習の目的や目標を一緒に考えてから行っている。
- 目標等を企業担当者とも共有し、利用者の実習中の情報や評価を得ている。
- 実習を通じて、得手不得手の気づきなどマッチングを意識したアセスメントを実施している。
- 企業担当者に対し、利用者の支援方法や障がい特性などを説明している。
- 実習の際に、企業へ障がい者雇用の啓発を意識した情報提供や支援を行っている。
- 利用者と企業担当者に実習日誌を記載してもらっている。
- 挨拶やビジネスマナー、コミュニケーション面などを重視し実習を行っている。
- 利用者本人が自信を持てるよう、できることを確認し成功体験を増やすようにしている。
- 受入企業の事前のアセスメント(作業内容、社風、理念等)を行っている。
- その他(又は上記選択肢から補足、または追加等)
 - ・利用者の実習先までの交通機関に留意している。実習中の声掛け、ヒアリングによるサポートを行っている。

評価項目 5-3 ハローワークや障害者就業・生活支援センター等
関係機関との関係

ハローワークや障害者就業・生活支援センター等関係機関と連携し、利用者の就労を支援しているか。また、利用者の定着支援に係り、職場適応援助者を利用しているか。

[関係機関との連携]

- ①連携している ②連携していない

[上記①選択の場合、連携している関係機関を下記から選択してください(複数回答可)]

- ハローワーク
- 市町村
- 障害者就業・生活支援センター
- 社会福祉協議会等の福祉団体
- 特別支援学校等の教育機関
- 病院等の医療機関
- 商工会議所等の経済団体
- その他

[上記関係機関との主な連携内容を記載してください]

- ハローワーク：利用者の求人登録と定期的な訪問による情報交換を行っています。教育機関：通信制高校の保護者会等へ出席し、就労移行支援について紹介しています。

[職場適応援助者(ジョブコーチ)を利用している場合、前年度年間利用数を記載してください]

0 件

※「職場適応援助者」とは、「配置型職場適応援助者」又は「第1号職場適応援助者」をいいます。

評価項目 5-4 就労プログラム

就労するために必要な知識や心構えなどを習得するため、どのようなプログラムを実施しているか。

[主なプログラム（複数回答可）]

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 社会道徳 | <input checked="" type="checkbox"/> 作業報告や連絡の練習 |
| <input checked="" type="checkbox"/> ビジネスマナー（挨拶等含む） | <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション、SST |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就労に係る意識向上 | <input type="checkbox"/> 社会参加活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> パソコン（検定対策含む） | <input checked="" type="checkbox"/> 症状コントロール |
| <input checked="" type="checkbox"/> 面接練習、履歴書作成 | <input checked="" type="checkbox"/> 文章作成 |
| <input type="checkbox"/> ディベート、グループワーク | <input checked="" type="checkbox"/> 電話対応 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 生活習慣（生活態度や金銭管理等） | <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション |
| <input type="checkbox"/> 体力向上 | <input checked="" type="checkbox"/> 接客対応 |
| <input type="checkbox"/> 計算力向上 | <input checked="" type="checkbox"/> その他 } 就労パスポートの作成 |

[上記プログラム実施の考え方]

・面談を通して本人の希望する就労に必要なスキルや、障がい特性のヒアリングなどから修めていた方が良いプログラムを確認、提案し、個別のカリキュラムで訓練を実施している。

評価項目 5-5 相談

どのような相談体制を構築し、利用者を支援しているか。

・顔を合わせた面談を重視し、本人に配慮した面談室での相談と在宅の利用者向けには電話、ライン、zoomなどのオンラインツールを活用して相談しやすい環境づくりに勤めている。担当制ではなく、スタッフ全員で支援状況を共有し、スタッフの誰にでも相談できる体制を整えている。必要に応じて相談支援専門員へ報告し担当者会議を行うなど関係機関との連携も取るようにしている。

6 企業との連携等

評価項目 6-1 企業訪問

企業を訪問し、就労先や実習先を開拓しているか。

- ①実施している ②実施していない

[上記①選択の場合、企業への訪問方法や開拓方法を記入してください]

・利用者の希望する業務や生活環境に合わせて、企業説明会（オンラインを含む）への参加や、求人が出ていない企業に対しても電話等で連絡を取り、就労移行支援、障害者雇用について説明を行い、就労先、実習先の開拓を行っている。

[現在実習先などとして接点のある企業の数と、その主な業種を記入してください]

企業数 10 主な業種 不動産、商社

評価項目 6-2 職場のアセスメント

どのようにして企業の情報を収集し、職場のアセスメントを実施しているか。

情報収集はハローワークの求人情報、企業説明会への参加、その他indeedなど各種求人媒体を活用しています。職場のアセスメントは、企業訪問時に作業現場等を見させてもらい職場環境のアセスメントを行っています。

7 職員への研修・啓発等

評価項目 7-1 企業との付き合い方

就労支援員に対し、企業との付き合い方に関する教育を行っているか。

- ①実施している ②実施していない

[上記①選択の場合、実施している内容を下記から選択してください（複数回答可）]

- 研修（事業所内又は外部）により実施している。
 企業との付き合いに関しスキルのある職員との同行などにより実施している。
 企業への対応に関する職員の報告を徹底している。
 企業との交流を積極的に行い、企業の考え方や動向などを学んでいる。
 事業所内のマニュアルを整備している。
 その他（又は上記選択肢から補足、または追加等）

{

}